

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-236914

(P2004-236914A)

(43) 公開日 平成16年8月26日(2004.8.26)

(51) Int. Cl.⁷

A45C 13/26

F 1

A45C 13/26

H

A45C 13/26

B

テーマコード (参考)

審査請求 有 請求項の数 3 O L (全 7 頁)

(21) 出願番号

特願2003-30390 (P2003-30390)

(22) 出願日

平成15年2月7日 (2003.2.7)

(71) 出願人 000102304

エース株式会社

大阪府大阪市中央区博労町4丁目5番2号

(74) 代理人 100072213

弁理士 辻本 一義

(72) 発明者 荒木 晴雄

大阪府大阪市中央区博労町4丁目5番2号

エース株式会社内

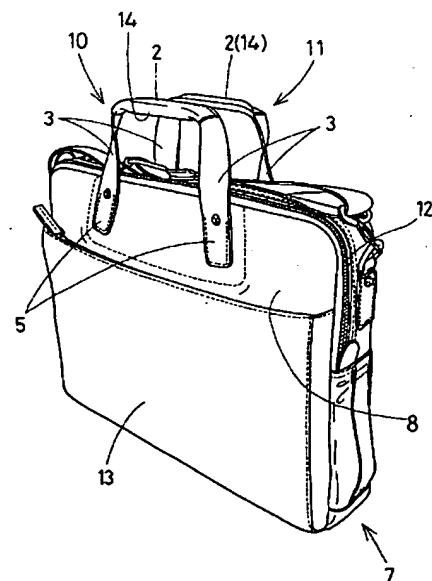
(54) 【発明の名称】 鞆用把手及び鞆

(57) 【要約】

【課題】 製造や鞆への取り付けが容易で、しかも、見栄えが悪くならず、耐久性に優れた鞆用把手及びそれを使用した鞆を提供すること。

【解決手段】 この発明の鞆用把手10、11は、基体の元の形状を扁平で握り部2の両側部3、3が略ハ字状に形成されたものとし、握り部2の表面が上方に向くように、両端部5、5の裏面を鞆7の前面8又は後面9に向けて固定することにより鞆7に取り付けられるようにしている。また、この発明の鞆7は、前記鞆用把手10、11を、前面8側及び後面9側にそれぞれ取り付けた鞆7であって、両鞆用把手10、11の握り部2、2を上下に重ねられるようにしているとともに、一方の鞆用把手10を他方の鞆用把手11より短いものとしている。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】

【請求項1】

基体（１）の元の形状を扁平で握り部（２）の両側部（３）（３）が略ハ字状に形成されたものとし、握り部（２）の表面（４）が上方に向くように、両端部（５）（５）の裏面（６）を鞆（７）の前面（８）又は後面（９）に向けて固定することにより鞆（７）に取り付けられるようにしていることを特徴とする鞆用把手（１０）（１１）。

【請求項2】

合成皮革のシートを、握り部（２）となる中央部が直線状で両側部（３）（３）が略ハ字状となった形状に切断することにより基体（１）が形成される請求項1記載の鞆用把手（１０）（１１）。

【請求項3】

請求項1又は2記載の鞆用把手（１０）（１１）を、前面（８）側及び後面（９）側にそれぞれ取り付けられた鞆（７）であって、両鞆用把手（１０）（１１）の握り部（２）（２）を上下に重ねられるようにしているとともに、一方の鞆用把手（１０）を他方の鞆用把手（１１）より短いものとする事により、両鞆用把手（１０）（１１）の握り部（２）（２）を上下に重ねて手に提げて持ったときに、前面（８）側又は後面（９）側に傾かないようにしていることを特徴とする鞆（７）。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

この発明は、通学、通勤、ショッピング、旅行その他適宜の用途で携帯される鞆及びそれに取り付けられる鞆用把手に関するものである。

【0002】

【従来の技術】

従来より、手提げ鞆用の把手として、皮革や合成皮革等からなる短い帯状のものを、握り部となる部分の表面が上方に向くように、両端部の裏面を鞆の前面又は後面に向けて固定することにより鞆に取り付けられるようにした鞆用把手がある（例えば、特許文献1参照）。

【0003】

しかし、この従来の鞆用把手は、握り部の表面が上方に向くようにするために、中央の握り部を2つ折りにし、さらに2つ折りにした握り部に補強皮革を巻き付け、そして握り部と補強皮革の両側部に沿って縫着して一体化した構成としていた。

【0004】

そのため、製造工程が複雑となり、しかも、中央の握り部とその両側部とが大きく振れた状態となるため、見栄えが悪く、耐久性にも問題があった。

【0005】

【特許文献1】

第3018300号登録実用新案号公報

【0006】

【発明が解決しようとする課題】

そこで、この発明は、製造や鞆への取り付けが容易で、しかも、見栄えが悪くならず、耐久性に優れた鞆用把手及びそれを使用した鞆を提供することを課題とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】

前記課題を解決するため、この発明は次のような技術的手段を講じている。

【0008】

この発明の鞆用把手10、11は、基体1の元の形状を扁平で握り部2の両側部3、3が略ハ字状に形成されたものとし、握り部2の表面4が上方に向くように、両端部5、5の裏面6を鞆7の前面8又は後面9に向けて固定することにより鞆7に取り付けられるようにしている。

【0009】

この鞆用把手10, 11は、合成皮革のシートを、握り部2となる中央部が直線状で両側部3, 3が略ハ字状に形成された形状に切断することにより基体1が形成されるものとすることができる。

【0010】

また、この発明の鞆7は、前記鞆用把手10, 11を、前面8側及び後面9側にそれぞれ取り付けた鞆7であって、両鞆用把手10, 11の握り部2, 2を上下に重ねられるようにしているとともに、一方の鞆用把手10を他方の鞆用把手11より短いものとする事により、両鞆用把手10, 11の握り部2, 2を上下に重ねて手に提げて持ったときに、前面8側又は後面9側に傾かないようにしたものである。

10

【0011】

【発明の実施の形態】

以下、この発明の実施形態を、図面を参照して説明する。

【0012】

図1はこの発明の実施形態の鞆7の斜視図、図2は鞆7の右側面図、図3は両方の鞆用把手10, 11の握り部2, 2を上下に重ねた状態の鞆7の右側面図、図4は鞆用把手10, 11の説明図、図5は一方の鞆用把手10の説明図、図6はその握り部2の断面図、図7は他方の鞆用把手11の説明図、図8はその握り部2の断面図である。

【0013】

この発明の鞆7は、基体1の元の形状を扁平で握り部2の両側部3, 3が略ハ字状に形成されたものとし、握り部2の表面4が上方に向くように、両端部5, 5の裏面6を鞆7の前面8又は後面9に向けて固定することにより鞆7に取り付けられるようにした鞆用把手10, 11を、前面8側及び後面9側にそれぞれ取り付けた鞆7であって、両鞆用把手10, 11の握り部2, 2を上下に重ねられるようにしているとともに、一方の鞆用把手10を他方の鞆用把手11より短いものとする事により、両鞆用把手10, 11の握り部2, 2を上下に重ねて手に提げて持ったときに、前面8側又は後面9側に傾かないようにしたものである。

20

【0014】

この鞆7は、合成皮革、天然皮革等適宜の素材を用いて製造されるものとしており、全体を四角形状とし、左側部の上部から上端部を通して右側部の上部に至るまで、ファスナー12により開閉自在とし、前面8側及び後面9側には、それぞれ小収納部13が設けられている。

30

【0015】

この鞆7に取り付けられる2つの鞆用把手10, 11は、その基体1が、厚さ3mm程度の合成皮革のシートを、握り部2となる中央部が直線状で、両側部3, 3が略ハ字状の形状となるように切断することにより形成されるもので、この実施形態では、さらに握り部2に隆起部14を設けたものとしている。また、一方の鞆用把手10は、他方の鞆用把手11より2センチ程度短くし、両鞆用把手10, 11を重ねたときに、両鞆用把手10, 11の両端部5, 5が揃うようになっている。

【0016】

鞆用把手10, 11は、図4に示したように、鞆7に取り付ける前の元の形状が、握り部2の両側部3, 3がそれぞれ20度程度の角度で曲がった略へ字状の短い带状となっている。

40

【0017】

隆起部14は、各鞆用把手10, 11の片面側において隆起するように設けられたもので、鞆用把手10, 11の基体1の握り部2の片面に、芯材15を長尺方向に添え、これを前記片面側の一端側（図6中の右端側、図8中の左端側）から他方の面の一端側まで覆う薄手の合成皮革等の生地16を当て、前記一端側を縫着することにより形成することができる。図6中の右端側、図8中の左端側が、縫着部分17となる。

【0018】

50

芯材 15 は、鞆 7 に取り付けて握り部 2 を上下に重ねたときに下に来る鞆用把手 10 の基体 1 にはその裏面 6 側に設け（図 6）、上に来る鞆用把手 11 の基体 1 にはその表面 4 側に設ける（図 8）。芯材 15 は、図示したような断面三角形ないし半円形の棒状で、両各鞆用把手 10、11 の握り部 2、2 を合わせたときに、隆起部 14、14 が断面略円形になるようにしている。

【0019】

また、芯材 15 は、木製、プラスチック製等として、硬質でしっかりと握り部 2 を握れるものとしたり、スポンジ等としてソフトな感触が得られるようにしたりすることができる。

【0020】

両鞆用把手 10、11 を鞆 7 に取り付けるには、それぞれの両端部 5、5 の間隔が握り部 2 の長さとはほぼ同じになるように曲げ、両端部 5、5 の各裏面 6 を鞆 7 の前面 8 又は後面 9 に向け、この両端部 5、5 を鞆 7 の前面 8 側又は後面 9 側の中央上部に、縫着や各種の固定具等により固定する。各鞆用把手 10、11 はもともと曲がった形状であるため、曲げる際に無理に力を加えて捻る必要はない。

【0021】

このようにして鞆 7 に取り付けられた鞆用把手 10、11 は、握り部 2、2 が鞆 7 の上端部より上方に位置し、また、握り部 2、2 の表面 4 が上方に向く。そして、正面から見て各鞆用把手 10、11 の握り部 2 と両側部 3、3 とが約 90 度の角度で曲がった態様となる。なお、握り部 2 と両側部 3、3 との角度はこれに限定されない。

【0022】

この鞆用把手 10、11 を取り付けた鞆 7 は、図 1、図 2 や、裏面 6 側が現れるようにした図 5、図 7 に示したように、各鞆用把手 10、11 の各握り部 2 とその両側部 3、3 とが大きく振れた状態とならないため、各鞆用把手 10、11 にほとんど皺がよらず、見栄えが良いとともに、耐久性も向上したものとなっており、頻繁に鞆 7 を上下させるような使用のしかたをしても、長期間耐えることが可能である。

【0023】

また、両鞆用把手 10、11 を同じ長さとする、両鞆用把手 10、11 の握り部 2 を上下に重ねて手に提げて持ったときに、上に来る方の鞆用把手を取り付けた側に鞆 7 が引っ張られ傾くことになるが、この実施形態では、下に来る一方の鞆用把手 10 が上に来る他方の鞆用把手 11 よりも短いため、図 3 に示したように、両鞆用把手 10、11 の握り部 2 を上下に重ねて手に提げて持ったときに、前面 8 側又は後面 9 側のいずれにも傾かないため、持ち心地がよく、快適に使用することができる。

【0024】

【発明の効果】

この発明の鞆用把手 10、11 は、上述のような構成を有しており、製造や鞆 7 への取り付けが容易で、しかも、見栄えが悪くならず、耐久性に優れたものとなっている。

【0025】

また、この発明の鞆用把手は、前記鞆用把手 10、11 を使用したものであり、一方の鞆用把手 10 を他方の鞆用把手 11 より短いものとするにより、両鞆用把手 10、11 の握り部 2 を上下に重ねて手に提げて持ったときに、前面 8 側又は後面 9 側に傾かないようにしているため、持ち心地がよく、快適に使用することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】この発明の実施形態の鞆の斜視図である。

【図 2】この発明の実施形態の鞆の右側面図である。

【図 3】この発明の実施形態の鞆で、両方の鞆用把手の握り部を上下に重ねた状態の右側面図である。

【図 4】この発明の実施形態の鞆用把手の説明図である。

【図 5】この発明の実施形態の一方の鞆用把手の説明図である。

【図 6】この発明の実施形態の一方の鞆用把手の握り部の断面図である。

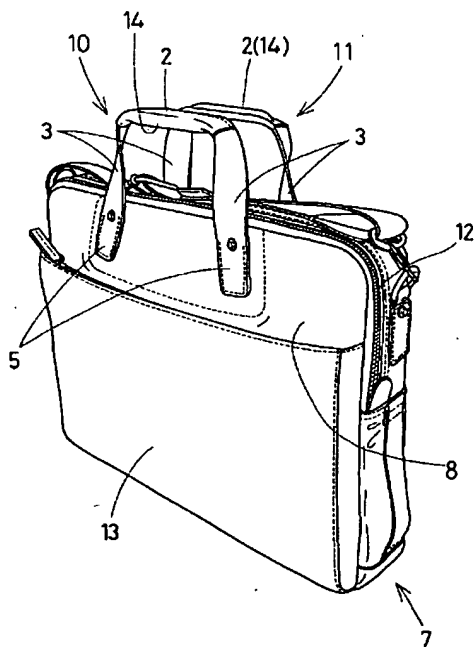
【図 7】この発明の実施形態の他方の鞆用把手の説明図である。

【図 8】この発明の実施形態の他方の鞆用把手の握り部の断面図である。

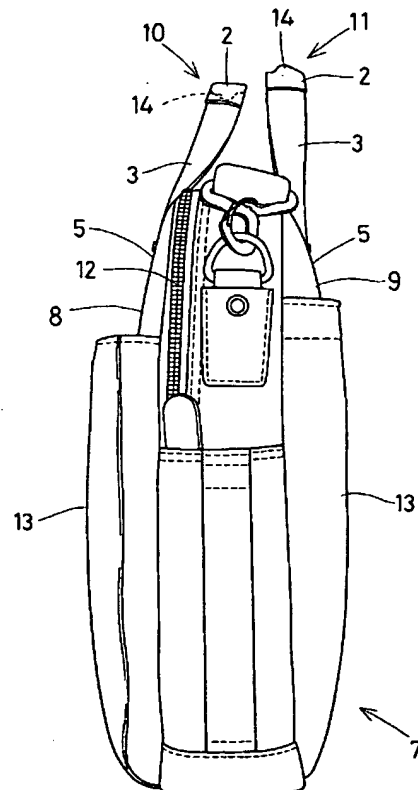
【符号の説明】

- 1 靴用把手の基体
- 2 靴用把手の握り部
- 3, 3 靴用把手の両側部
- 4 靴用把手の表面
- 5, 5 靴用把手の両端部
- 6 靴用把手の裏面
- 7 靴
- 8 靴の前面
- 9 靴の後面
- 10, 11 靴用把手

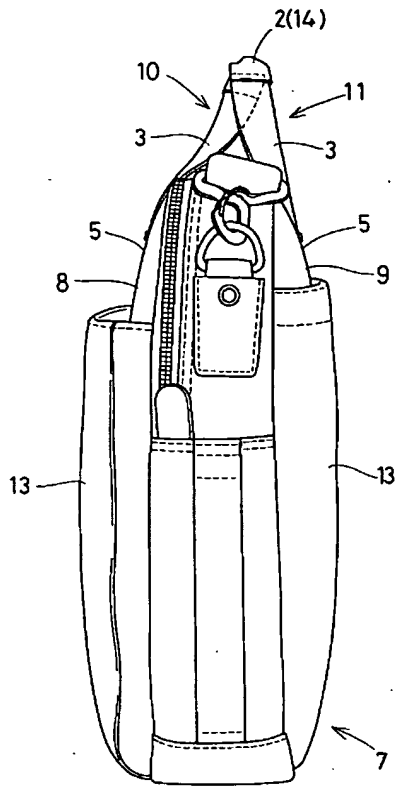
【图 1】



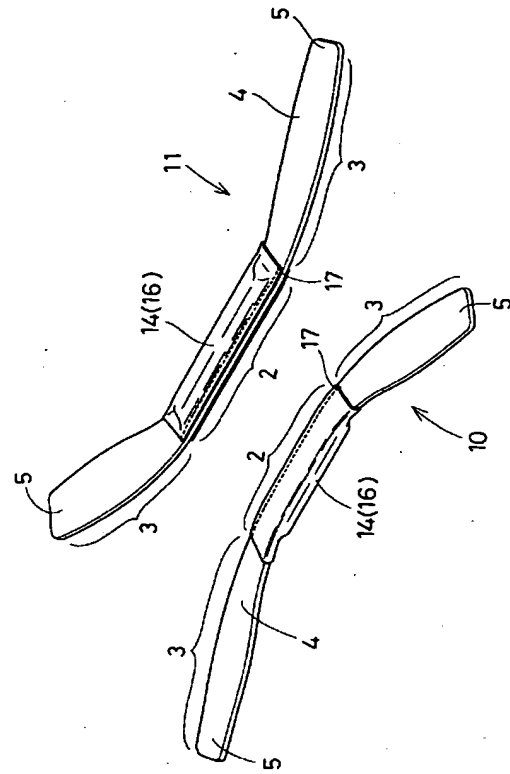
【图 2】



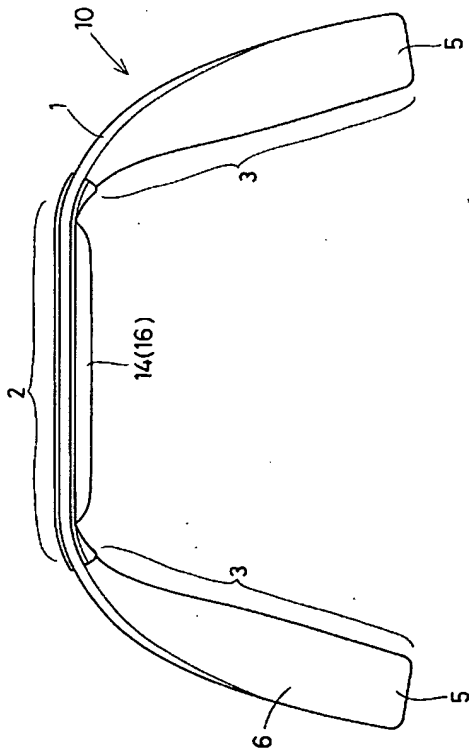
【図 3】



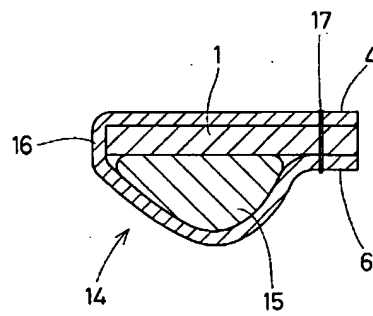
【図 4】



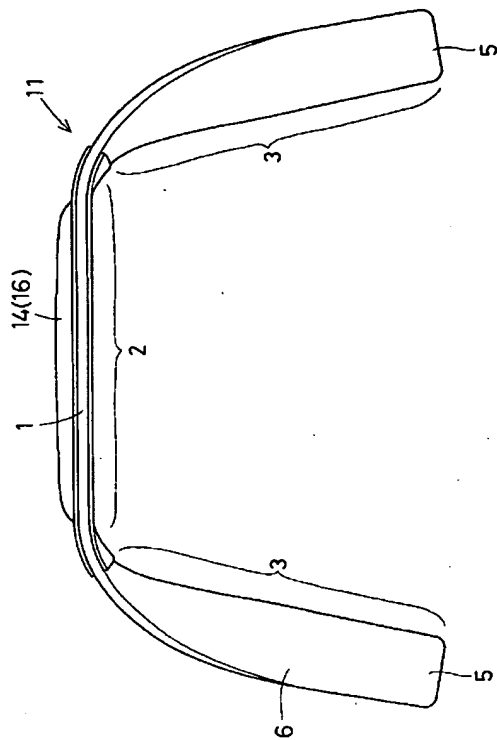
【図 5】



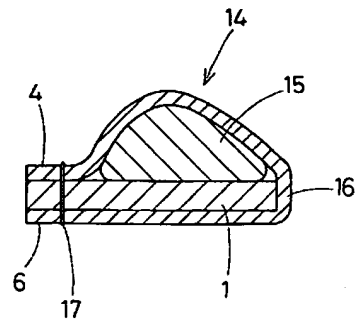
【図 6】



【図 7】



【図 8】



PAT-NO: JP02004236914A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2004236914 A
TITLE: BAG HANDLE, AND BAG
PUBN-DATE: August 26, 2004

INVENTOR-INFORMATION:

NAME
ARAKI, HARUO

COUNTRY
N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME
ACE KK

COUNTRY
N/A

APPL-NO: JP2003030390

APPL-DATE: February 7, 2003

INT-CL (IPC): A45C013/26

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide durable bag handles which are easily produced and attached to the bag without hurting outer appearance, and to provide the bag using them.

SOLUTION: The base bodies of bag handles 10, 11 are originally flat, and each of the side parts 3 of each grip part 2 is formed in nearly a trapezoid shape. The rear surface of each of end parts 5 is attached to a bag 7 by allowing it to face the front surface 8 or rear surface 9 of the bag 7 for fixing, so as to turn the front surface of each grip part 2 upwards. The bag handles 10, 11 are respectively attached to the front surface 8 and the rear surface 9, so that the grip parts 2, 2 of both bag handles 10, 11 overlap.

Thus, the one handle 10 for the bag is formed to be shorter than the other handle 11.

COPYRIGHT: (C) 2004, JPO&NCIPI